

1. 開講科目紹介

各科目の詳細については本学ホームページ <http://www.nfu.ne.jp/> においてご覧になれます。

(1) テキスト科目および放送授業・テキスト併修科目

科目名	経営学	科目群	共通基礎科目
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	関口和雄、張淑梅、守田峰子		

【概要】 企業経営の基礎を理解するには、組織マネジメントという視点にたつて、経営目標の達成に向けた効率的なマネジメントのプロセスをおさえるとともに、変貌する経営環境に適応していくプロセスにも留意することである。企業と環境、組織の構造と過程、組織の変革といった企業経営の中心課題をみとうえて、医療・福祉、環境ビジネスなどといった分野のマネジメントの問題を認識していく枠組みを学ぶ。さらに、21世紀の産業経営の将来ビジョンとして示されている社会貢献型経営についても検討し、企業経営のあり方についても考察する。

科目名	経済学	科目群	共通基礎科目
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	上田和宏、谷地宣亮		

【概要】 一般の営利企業のみならず医療・福祉施設の行動を理解するには、希少な資源の効率的配分を研究対象とする経済学の知識が不可欠である。また地域開発にとっても経済学が有用な情報を与えることはいうまでもない。本講では、経済理論を理論としてだけ学ぶのではなく、企業ならびに家計の行動についての具体的なケース分析を通して、経済学の基本的な考え方を習得する。また、社会人学生のもつ実践的な要求にも応えることを考慮し、医療・福祉施設といった非営利組織についても詳しくとりあげる。

科目名	会計学	科目群	共通基礎科目
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	橋口徹		

【概要】 「簿記」では、個人商店の経営活動を計数的に把握する方法を習得するが、本講「会計学」では、株式会社の経営活動を計数的に把握する方法を習得する。最初に簿記・会計の基礎事項を理解し、諸取引の処理方法を習得する。次に株式会社における株式発行、利益処分などの処理方法を理解し、株式会社の決算、財務諸表作成について学習する。さらには、本支店会計及び複数仕訳帳制などについて学ぶ。

科目名	開発学概論	科目群	共通基礎科目
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	斎藤千宏、穂坂光彦		

【概要】 近年、国際社会で主流となりつつある人間中心の発展＝社会発展の考え方に依拠して、国際開発問題について学ぶ。まず、福祉概念および貧困概念についての考察を深めた後、環境との調和およびジェンダー平等という制約のなかで、適正な経済成長を図る方策について考える。そうした発展は政府や企業のみならず、NGO、地域住民組織等、さまざまな担い手が多角的に参加し、しかもそれらが国境を容易に越えて交流している。こうした世界の現実についての認識を深める。

科目名	法学	科目群	共通基礎科目
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	大竹秀樹		

【概要】 社会生活における人間の行為に一定の規準を設定することによって、社会生活に秩序をもたらす社会の存続に必要な条件を確立する法の機能について論じる。社会規範の一つである法と社会の関わり、法と国家の関係を説明し、制定法規の内容や機能、基本的な法としての公法、私法、社会法、そしてそこでの権利とその法的性格について述べる。さらに、法の基本的概念を理解するために、憲法およびその基本原理と基本的人権、行政法における地方自治、民法を中心に市民生活と法などについて具体的に説明する。

科目名	社会福祉学	科目群	共通基礎科目
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	小椋喜一郎		

【概要】 これまで私達は社会福祉をどのように考えてきたのだろうか。人間の生の営みは、過去から受け継がれ現在に至っている。しかし、我々は過去の歴史、現在の社会福祉の諸制度も知らないままに漠然と社会福祉を考えてはいはしないだろうか。社会福祉とは優れて実践的な学問である。過去・現在・未来を改めて見つめ直し、未来の福祉はどうあるべきか具体的な事例や演習を通して考えていきたい。

科目名	民法	科目群	共通基礎科目
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	近藤充代		
<p>【概要】 民法は、市民間の財産関係、取引関係、身分関係を規律している法律であるが、本講では市民生活にとって身近である消費者問題を題材に、現代社会における民法の役割の理解と法的な思考方法の修得をめざしたい。具体的には、消費者被害の救済という観点から、民法総則（行為能力制度、意思表示等）、契約法の基礎（契約の成立、効力、解除等）を学習し、さらには訪問販売法、割賦販売法などの民法特別法についても理解を深めたい。</p>			

科目名	社会学	科目群	共通基礎科目
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	小椋喜一郎		
<p>【概要】 社会学は、生きた人間の生活・共同生活といった人間の社会的行為と関連づけながら、社会組織の法則・歴史などを明らかにしようとする学問である。社会学の社会福祉実践に対する貢献は近年ますます大きくなっている。貧困・差別といった古くからある社会問題、いじめや虐待といった新たな問題、これらは社会学が対象とする人間関係とその結果によってもたらされている。社会学を学ぶことによって社会福祉の総合的な解決視点を身につけることを本講で目指していく。</p>			

科目名	簿記	科目群	共通基礎科目
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	新谷司		
<p>【概要】 簿記とは、企業の経営活動を計数的に記録し、それを集計して企業の経営成績や財政状態を知るための計算処理記述である。最初に、簿記の基本的仕組みを理解する。次いで、商品売買業を営む個人商店における諸取引の仕訳と一連の決算手続きについて習得する。仕訳例や設例を利用して簿記知識の効率的習得を目指す。</p>			

科目名	日本史	科目群	共通基礎科目
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	福岡猛志、曲田浩和		
<p>【概要】 これまで中学校・高等学校の教科書などで学んできた、わたしたちの日本史像は、最近大きく書き換えられようとしている。飛躍的に増大した発掘調査を背景とした考古学の発展、主として近世・近代の地域史研究の中で確認された新たな史料（古文書）に基づく新しい問題提起、これまでとは異なる視点での既存史料の読み直しなどが進んでいるからである。この新しい到達点を踏まえた日本史像を、受講生諸君とともに追及してみたい。通史的叙述を柱としつつ、視点・論点についての解説を加えたテキスト（参考文献の紹介を含む）を主要教材とするが、それを補強する多様な教材を用意する。</p>			

科目名	心理学	科目群	共通基礎科目
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	竹下隆		
<p>【概要】 心理学は人間そのものの全体の理解をめざす学問。はじめ“人の心”を理解しようとした時代から、現在では“人の行動”を科学する時代になった。幅広い“行動の科学”としての心理学から心の仕組みや働きの法則性を知る基礎を示し、人間追求の意義を明らかにしながら次の4点の理解を深めさせる。①人間の心理学的理解、②人間の成長・発達と心理の理解、③測定や分析の手法を用いた人間理解のための心理学理論と技法、④行動療法など心理的援助技法の概要。</p>			

科目名	英語コミュニケーション	科目群	共通基礎科目
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	内野信幸		
<p>【備考】 この科目では、インターネット上で配信される音声ファイルを用いたヒアリング学習を行うため、パソコンに音源機能（スピーカーなど）が必要である。</p>			
<p>【概要】 英語の力を確定なものにするためには中・高で学んだことをやり直してみることだ。可能な限り簡潔な英文で既習の学習事項を復習して、以下のような力を身につけてもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つづりと発音の関係を知る。 ・英文の法則性を体系的にとらえ直す。 ・文頭から読み下す方法で聞き取り能力の向上。 ・英文エッセイで自己表現能力の向上。 			

科目名	医学概論	科目群	共通基礎科目
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	田原孝		
【概要】 医療が福祉化し福祉が医療化する現在、医療―福祉の境界が消失し、それらを分離することの限界が指摘されている。本講義では、医療や福祉におけるマイクロ～マクロのダイナミクスを統一して理解するために福祉の概念の再構築を行ない、それに立脚して、医療、医学、福祉の構造、位置づけ、それらの関係を論ずる。この基礎となる枠組みは「カオス・複雑系理論」と「臨床経験」であり、これは世界初の取り組みでもある。			

科目名	生物学	科目群	共通基礎科目
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	水野暁子		
【概要】 生物の基本構造である細胞膜を中心として、生物らしい構造と機能について理解する。特に、人間とは違った構造を持つ植物について、成長、水や養分の吸収、情報伝達などの生理的機能と、細胞や組織の構造との関わりについて詳しく学習する。植物がどのような構造と機能を基にして、環境に対する適応や反応を行っているかを認識することで、酸性雨などの環境問題について考えることができるような、基礎的な力をつける。			

科目名	コンピュータリテラシー	科目群	共通基礎科目
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	森本正昭		
【概要】 通信教育部ではパソコンとインターネットを受講や課題提出の手段として使っていくので、それらについての基礎的な理解と共通の認識が必要である。そのためよく使うコンピュータ用語についての正しい理解を求める。さらに情報とは何か、情報の果たす役割、情報の表現、処理の方法などについての基礎的理解が求められる。またこれからの社会における情報システムの役割と課題、インターネットの仕組みと活用およびセキュリティについて、重点的に解説する。			

科目名	経営組織と戦略	科目群	専門科目（ビジネスマネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	張淑梅		
【概要】 本テキストは、組織とは何か、優れた組織の動き方、特徴を、組織論と経営戦略論の視点から学ぶことを目的とする。まず現代社会の基礎的構成要素としての組織の行動や構造、変化のメカニズムを説明する。次に組織を環境との相互作用をもつオープンシステムと認識し、激動する環境の変化に対応するための経営戦略、組織変革、さらに情報革命のもとで展開されつつある新しい組織と戦略について実例を交えて論じていく。			

科目名	マーケティング	科目群	専門科目（ビジネスマネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	小木紀親		
【概要】 マーケティングとは、企業による創造的かつ独占的な市場獲得戦略である。講義では、そうした企業の様々なマーケティング戦略や市場における多様なマーケティング的現象を、とりわけ、製品戦略、価格戦略、プロモーション戦略、流通チャネル戦略などとの絡みで論じていく。また、基本的なスタンスとしては、現代市場の現実的側面にスポットを当てつつ、生活者の視点からマーケティング現象をとらえることを意識したい。			

科目名	財務会計	科目群	専門科目（ビジネスマネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	橋口徹		
【概要】 財務会計とは、会計基準や会計慣行に規制され、企業の財政状態や経営成績に関する情報を作成し外部の利害関係者に報告することを意味する。「会計学」の発展科目として位置づけられる本講「財務会計」では、日本の会計制度に基づいて、会計規制の体系、財務諸表の様式とその意義、固定資産会計、繰延資産会計、引当金会計、費用・収益の認識基準、財務諸表の監査、連結財務諸表、ディスクロージャーの拡大化などを取り上げる。			

科目名	人的資源管理	科目群	専門科目（ビジネスマネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	放送授業・テキスト併修科目
担当教員	関口和雄		
【概要】 企業経営にあっては、〈人づくり〉を経営の基本に位置づけ、人的資源のパワーアップと有効活用をはかることを重点施策として取り組んできた。病院や福祉分野のヒューマン・サービス組織においても、人的資源のマネジメントが最も重要な問題だという認識となっている。人的資源管理システムの枠組みを学んだうえで、〈働くことの意味〉〈仕事への動機づけ〉〈仕事へのコミットメント〉といった中心にある問題を考察し、さらに上司や同僚との対人関係をふくめた職場マネジメントについても学んでいく。			

科目名	産業心理学	科目群	専門科目（ビジネスマネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	竹下隆		
<p>【概要】 激しく変わる現代社会の様相は一つの時代の終わりを示している。産業革命以来の企業社会成立の基本が限界に来ているからだ。エネルギーと地球の限界である。産業心理学は、この限界にかかわる産業構造の理解と人間行動の分析、そして新しい未来社会設計条件の人間の役割を検証する学問である。情報化社会を始め高齢化社会、異文化共生、女性の就業意欲、地球環境保全など未来図対応の多くの課題を、企業組織と人間の関係で捉える必要性はますます現代企業社会に迫っている。地球の限界を配慮した本当の福祉社会未来図設計と一人一人のライフスタイルの展望をトピカルに捉え、人は何のために生き、何のために働くかの一角を追求しよう。</p>			

科目名	企業ファイナンス	科目群	専門科目（ビジネスマネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	津森信也		
<p>【概要】 企業ファイナンスは企業経営のみならずすべての企業人にとり必須の知識であることは欧米においては常識であるが、日本でもようやく認識されるに至っている。また、その基本は営利経営のみならず非営利経営においても特に変わるものではない。</p> <p>組織の運営には資金が不可欠であり、資金が不足すれば最終的には組織は成立し得ない。</p> <p>資金不足は経営の問題でもあるから企業ファイナンスは企業経営と多くの点において共通する。</p> <p>そこで、企業活動における資金という観点から基本を理解し、次第に現代ファイナンス理論の実務面への応用を中心に進めることになる。理論に偏ることはない。</p> <p>内容的には、資金の調達運用の実務知識、企業のリスク管理、キャッシュフローとその割引現在価値、デリバティブ等を理解し、価値創造経営と企業分析手法を中心に応用編を学ぶ。</p>			

科目名	福祉機器ビジネス	科目群	専門科目（ビジネスマネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	後藤芳一		
<p>【概要】 社会構造や消費者意識の変化が進み、医療・福祉事業をめぐるニーズは、かつてない速さで変化している。国も、財政制約の下でサービスの質を維持するよう模索している。これを受け、制度の改革が急速に進んでいる。一方、従来の医療・福祉事業は、公的制度のもとで収入が保障され、外的環境に受け身で対応する傾向があった。今後は、固有の環境を踏まえた経営のあり方が事業の存続を決める。それには、サービス提供者として受け手から支持されるよう、経営を組み立てる必要がある。本講は、医療・福祉サービスの専門家が、自ら状況を判断して進路を構築できるよう、経営の基本的な枠組を整理する。</p>			

科目名	環境ビジネス	科目群	専門科目（ビジネスマネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	向井征二		
<p>【概要】 21世紀は環境の世紀といわれるが、営利・非営利を問わず、いかなる事業体にとっても環境は、それを抜きにしては経営戦略が成り立たない程の最も重要なキーワードになっている。利害関係者への経営情報開示とコミュニケーション、環境配慮型製品設計、グリーン調達、環境汚染防止への企業の社会的責任など、環境を軸に事業展開する場合に求められる諸要素を、ISO規格など環境関連の国際的規範を交えて検討するとともに、内外の環境ビジネスの事例を研究する。</p>			

科目名	労働法	科目群	専門科目（ビジネスマネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	野村晃		
<p>【概要】 産業構造の変化に伴って必然化した労働力供給構造の変動・就業形態の多様化、労働者意識の変化などに対応して、80年代半ば以降多数の労働法制が改編・創設された。労働関係の開始から終了に至るまでのさまざまな労働法上の問題を、労働基準法に焦点をあて考察する。その際、「雇用社会」を視座に、雇用保障領域の新たな法制をも取り入れ、影響力ある判例を紹介し、憲法・民法とのかかわり、社会保障法との接点を意識した講義をする。</p>			

科目名	コミュニティマネジメント	科目群	専門科目（コミュニティマネジメント・国際協力分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	生江明		
<p>【概要】 この科目では、内外の様々なコミュニティマネジメントの事例を通して、コミュニティとは何であるのか、そしてそのマネジメントとはいかにあるべきなのかを考察する。社会的存在である人間たちが、そのより良き人生の実現のために自然と社会資源をいかに組織化し、豊饒化していくかというプロセスは、行政サービスの客体としての人間ではなく、コミュニティのマネジメント主体としての人間たちをこれらの事例の中に、そしてその社会哲学の中に見出すことになるだろう。</p>			

科 目 名	NPO 論	科 目 群	専門科目（コミュニティマネジメント・国際協力分野）
単 位 数	4単位	科 目 の 種 類	テキスト科目
担 当 教 員	雨森孝悦		
<p>【概要】 従来、政府機関や企業の陰に隠れ、マイナーな存在でしかなかった民間非営利組織の独自の性格と社会的役割について考える。中心的な問題関心は、なぜ民間非営利組織が必要なのかということであり、高度成長期以後の日本の社会運営のあり方、とくに公益性の判断や担い手という点に着目する。公益法人等の他、NPO といわれる特定非営利活動法人や一般の市民団体について、企業や行政との関係、国際比較等の視点から考察する。</p>			

科 目 名	地域福祉論	科 目 群	専門科目（コミュニティマネジメント・国際協力分野）
単 位 数	4単位	科 目 の 種 類	テキスト科目
担 当 教 員	野口定久		
<p>【概要】 最近の地域福祉の諸課題としてクローズアップされている、介護保険制度と介護予防・地域自立生活支援等の地域福祉システムづくり、社会福祉法と地域福祉計画等を、現代の生活問題との関連でとりあげながら、その問題解決のための考え方や新たな開発の方法を提示することに努める。とくに、地方分権化・社会サービス等の資源供給・コミュニティワーク・住民参加の視点から、今日の社会変動（経済・地域社会・家族関係）を視野に入れた地域福祉の体系と展開の方法を検討する。</p>			

科 目 名	地方行財政	科 目 群	専門科目（コミュニティマネジメント・国際協力分野）
単 位 数	4単位	科 目 の 種 類	テキスト科目
担 当 教 員	齋藤友之		
<p>【概要】 地方行財政は、わたしたちのもっとも身近な政府である自治体を運営していく上で、最も重要な制度装置である。そこで、次の4つの観点からの考察を通じて、「われわれの政府」づくりを考えていく。第1に、国と地方の政府間行財政関係について、類型モデルを参考にしつつ、諸国間での制度比較を行い、わが国の地方自治が世界の中で比類のないものであることを明らかにする。第2に、地方分権改革によって生まれた地方自治制度の基本構造を、旧制度との相違を踏まえて解説することで、団体自治が向上されたことを確認していく。第3に、地方行財政のテキストにおいて、従来見落とされがちな財政分析の視点および政策過程という財政学と行政学の領域を加えることで、総合的な理解を促していく。そして、第4に、「われわれの政府」づくりにとって不可欠な参加と協働を前提に、地域社会および住民と自治体との関係ならびに自治体の民主統制のあり方を明らかにする。</p>			

科 目 名	開発協力	科 目 群	専門科目（コミュニティマネジメント・国際協力分野）
単 位 数	2単位	科 目 の 種 類	テキスト科目
担 当 教 員	雨森孝悦		
<p>【概要】 開発援助が本格的に開始されてから50年がたった現在、これまでの援助を振り返るとともに、援助の現状および21世紀における開発協力のあり方について学習するための素材を提供する。開発協力の仕組みや実態はかなり複雑なので、基本をしっかり押さえること、さらに知識を深めるために的を射た問いを發すること、の2点に留意する。開発学概論と内容的な重複をできるだけ避けつつ、初心者にもわかりやすい科目とする。なお、この科目は通常の添削課題・科目修了試験とは別にレポート課題を課す予定である（提出は任意）。</p>			

科 目 名	環境と開発	科 目 群	専門科目（コミュニティマネジメント・国際協力分野）
単 位 数	4単位	科 目 の 種 類	放送授業・テキスト併修科目
担 当 教 員	斎藤千宏		
<p>【概要】 1990年代は、国際社会で持続可能な発展（sustainable development）が唱導された10年間であった。本科目では、地球温暖化防止、生物多様性の保全という21世紀において決定的に重要になる二つの課題に対して、各国政府や国連、多国籍企業、地方自治体、NGO・NPOがどのような取り組みをしているのか、具体的な事例を通して考察を進める。また途上国民衆の視点から、持続可能な発展に向けての市場メカニズムの活用が、どのように効果的に機能するか（しないのか）についての分析を加える。</p>			

科目名	地域環境計画	科目群	専門科目（コミュニティマネジメント・国際協力分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	阿蘇裕矢		
<p>【概要】 人間の生活と環境について考察し、その調和を図っていくためのマネジメント方策について論ずる。特に、コミュニティレベルから、都市・農山村、地域空間レベルにおける環境問題に着目し、主としてこれまでに行われてきた環境計画の方法を学ぶとともに、人間にとって求められる環境のあり方について歴史的な考察を行う。さらに、空間のレベルや環境の特性に合わせた環境計画の手法、施策、政策等について論じ、これからの環境計画のめざすべき方向、主体間の連携や合意形成等のあり方について考察する。</p>			

科目名	福祉社会システム論	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	訓覇法子		
<p>【概要】 講義の目的とレベルは二つである。1) 世界先進国における社会政策の国別による分類（モデル）を軸にして、国際比較研究的視点から日本の福祉社会システムを社会的に考察するとともに、方法論的に分析する。2) 高齢者人口の増加により、世界の先進国が高齢者社会に直面する現在、福祉国家・社会システム分析において介護国家・介護社会というあらたな概念が必要とされる。したがって、介護社会としての日本の社会システムの現状分析を課題として、国際比較研究的視点から有意義と思われる概念や理論の考察を行う。</p>			

科目名	社会保障論	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	李忻		
<p>【概要】 21世紀を迎えた今、社会保障は大きな転換点にたっている。低成長経済への移行、少子高齢化による人口の減少という大きな変化の中で、社会保障が国民の生活を支える仕組み、社会保障の機能と役割について学んでいく。具体的には、社会保障の理念、概念、範囲、役割、社会保障を構成する各制度の目的、対象、給付内容及び財源の概要などについて学び、理解を深める。さらに、年金制度・医療保険制度・介護保険制度などの改革と現状、民間保険による公的保障の補完、社会保障運営の体制とマンパワーについても検討し、理解を深める。</p>			

科目名	公的扶助論	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	明星智美		
<p>【概要】 人たるにふさわしい生活が困難になった場合の最終的な公的救済が公的扶助である。この講義では、わが国の公的扶助制度である生活保護法をとりあげ、目的と原理・原則、制度のしくみを学習する。日本国憲法と関連して生活保護法が目的とする「最低生活保障」と「自立助長」の意味を学び、本来法が保障している、保護を必要とする人びとの「権利」についての理解を深める。社会福祉基礎構造改革の流れの中で生活保護法「改正」論議が進められている今、改めて「健康で文化的な最低限度の生活」の意味を問い、この分野における権利擁護のセンスが磨かれることを期待する。</p>			

科目名	福祉計画論	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
単位数	2単位	科目の種類	放送授業・テキスト併修科目
担当教員	高橋紘一		
<p>【概要】 少子高齢化という急速な人口構造の変化は、21世紀の生活設計に大きな影響を与えている。国も地方自治体も財政赤字にあえいでいる。この状況のもとで、福祉資源を適正に効率的に使用するためには、「福祉計画」が欠かせない。「福祉計画」には、老人保健福祉計画・障害者プラン、エンゼルプラン、介護保険事業計画がある。「福祉計画」には、国としての計画および都道府県・市区町村の計画があり相互に密接に連動している。「福祉計画」策定の際の最初の作業は、要介護高齢者数、障害者数、児童数を予測し、必要な保健・医療・福祉需要を見込むことである。次に、この需要に対して、地域における公的サービス・NPO・一般企業などによる供給量を見込む必要がある。この他、「福祉計画」策定への住民・職員参加の問題、財政問題、上位計画との調整、「福祉計画」実施過程の点検、「福祉計画」実施後の検証と課題、次期「福祉計画」策定などについても学習する。</p>			

科目名	障害者福祉論	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	野崎泰志		
<p>【概要】 障害の概念や障害観・障害者観の社会的・歴史的背景を踏まえながら、その変遷を概観し、障害者福祉の理念や基本的な考え方について学ぶ。対象としての「障害者」の拡大、法体系の変遷と制度改革による障害者福祉施策の変遷の根底に流れる「障害（障害者）理解」の変化と、それに基づく具体的な福祉サービスの現状・リハビリテーション・社会参加、雇用や教育を含めた関連施策、そしてそういったサービス提供を担う組織や専門職の援助活動について論じる。また、近年の障害者福祉の国際動向、わが国の障害者運動（当事者運動）の広がりにも目をむけ、障害者福祉の今後のあり方について検討する。</p>			

科目名	児童福祉論	科目群	専門科目（医療・マネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	加藤俊二		
<p>【概要】 少子高齢化社会のなかで、エンゼルプランの策定、児童福祉法の改正など従来の制度・政策では把握しきれないほど児童と家庭を取り巻く環境は変化してきている。このような社会的背景の中で、現代社会における児童福祉の理念はどうあるべきか考えていくとともに、一方で児童虐待の増加など現代社会のひずみの中におかれている児童の現状などの理解を深める。また、児童への相談援助活動の実際を通じて、児童福祉ニーズの把握に努め、具体的な児童福祉の在り方を考えていく。</p>			

科目名	医療経済学	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	放送授業・テキスト併修科目
担当教員	柿原浩明		
<p>【概要】 少子・高齢社会の日本は、保健医療システムの転換期にある。医療政策の観点からすると、21世紀にむかい医療保険財政が厳しさをくわえるなかで「効率」かつ「公正」な医療供給システムを、どのようにして構築していくかが問われている。また、医療の従事者や経営者の視点でみるならば、医療保険システムの変革期は新たなビジネス・チャンスをつかむ好機でもある。本講では、希少資源の効率的な配分を重視する経済学の視点から、医療施設の供給行動、家計の医療需要行動、および保険者の役割について解説・評価する。また、「効率」かつ「公正」な医療サービス供給を実現するのに必要な政策について論じる。</p>			

科目名	医療政策論	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	李忻		
<p>【概要】 わが国の医療制度は高齢社会を迎えて、大きな転換期にある。「いつでも、どこでも、誰でもが安心して医療をうけられる」という目標の実現が、高齢化と低成長経済の下で困難となっているからである。医療サービス自体もかつての感染症時代から成人病・生活習慣病へと推移する中で、公平と効率の観点から医療制度に関わる「人」「物」「金」のすべてにおいて、その改革が迫られている。臓器移植に象徴される高度先進医療への大きな期待とともに、高齢者の長期ケアのための医療と福祉を接合した介護保険制度の創設など、患者の自己決定やQOL（生活の質）の向上などの新しい動きをふまえて、医療政策のあり方は国民の健康の維持と増進に大きく影響している。本講義では、戦後の医療政策の展開と今後の課題・方向について学んでいく。</p>			

科目名	医療福祉論	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	成清美治		
<p>【概要】 この科目は、現在、保健医療機関等に従事している学生諸君或いは従事することを望んでいる学生諸君が保健医療福祉に関する基礎的知識を習得することを目的としている。社会保障基礎構造改革以降、保健・医療・福祉の連携、統合が顕著になった。なかでも介護保険制度の創設は、社会保険のシステムのもとで、新しい体系の高齢者福祉サービスの給付が開始された。このことは、これまで保健医療関係に従事していたMSWの役割を見直させることとなった。この授業では医療福祉を制度・政策（広義）と保健医療ソーシャルワーク（狭義）の両面から捉え、総合的医療福祉について学ぶ。</p>			

科目名	医療福祉経営論	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	中島明彦		
<p>【概要】 医療福祉施設の経営は企業の経営理論をそのまま当てはめようとしても困難である。その理由は医療福祉サービスの持つ専門性や公共性という特性、サービスを提供する専門職の自律性、組織が専門職組織であること、事業が制度や政策に大きく依存することなどがあげられる。本講ではこれらを踏まえて医療福祉経営の基本的視座を提供しようとする。</p>			

科目名	非営利マーケティング論	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	井上崇通		
<p>【概要】 非営利マーケティングとは、主として非営利組織に一般企業のマーケティングの戦略および手法の視点を取り入れ、各非営利組織独自のマネジメント活動に役立てることを意図するものである。しかし、非営利組織は一般企業とは当然異なるものであり、非営利組織のなかでもその特性などによりマーケティングの戦略および手法の取り扱いとは異なる。特に、講義では、そうした点に鑑み、各非営利組織の分類から始め、各々に適するマーケティングの戦略および手法、非営利組織を巡る動向を論じていく。</p>			

科目名	非営利組織会計	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	新谷司		
【概要】 現代社会では営利企業とは異なった民間非営利領域での事業活動が重要となっているが、そこでの管理や会計が十分に確立されているわけではない。企業会計は営利事業の経営成績を測定することを主たる課題としてきたが、このような企業会計の測定とディスクロージャーを土台としながら、非営利事業の特質を反映する会計の構造と特徴、およびそのあり方を、社会福祉法人会計や協同組合会計などを事例として論じる。			

科目名	精神保健福祉論	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
単位数	6単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	青木聖久		
【概要】 「精神保健福祉」の範囲は広い。子どもから大人までのメンタルヘルスの問題から、精神疾患による障害があり福祉的サービスを必要とする人々（精神障害者）の生活支援までを含んでいる。その両方を視野に入れたところに精神科ソーシャルワーカーの役割と実践の課題がある。一方、国家資格化（名称は精神保健福祉士）されたねらいは、日本固有の歴史（精神科における長期入院、福祉施策の遅れ等）が生み出した課題（退院促進と地域生活支援体制の整備）の解決にあったことも事実である。今、国の施策の方向も障害者福祉の統合化に進み始めている。精神障害者の地域生活支援を進めることは、子どもから大人まで、安心して生活できる地域社会をつくることと重なり合うことを、学習の過程でつかめるように期待している。			

科目名	精神医学	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	田原孝	学年配当	4年
【概要】 精神医学とは精神機能とその病態（障害）について研究する学問である。しかし患者さんを理解するには、狭い意味の医学すなわち生物学的精神医学視点のほかに、心理学的な側面すなわち精神病理学的視点、さらに社会精神医学視点などいくつかの視点から総合的に捉える必要がある。まず、基本的な考え方、障害のとらえ方、いくつかの（立場）、ついで各病態について、主にストレス関連障害、神経症性障害、気分障害、統合失調症（精神分裂病）、などを中心に学習する。また、「脳の構造と機能」「精神医学的診断法」、治療学、精神保健福祉対策、老年期痴呆症などの脳の器質性精神障害について、あるいは、精神作用物質依存症、てんかん、発達障害その他について学ぶ。			

科目名	精神保健学	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	田原孝	学年配当	4年
【概要】 精神保健学は独自の的方法論もあるが、まだ十分確立されていないので、精神医学や臨床心理学なども援用しながら、心の健康を保持し、発生予防活動を行い、精神障害をもった人の社会復帰・再発予防に努める実践的な学問といえる。また精神健康に影響を与える大災害や犯罪被害、異文化体験などについて対応を考えるのも精神保健学の役割であろう。講義ではまず、精神の健康について考え、精神保健学の考え方を学び、発達段階における精神保健、社会の現場での精神保健、ついで個別課題を取り上げ、精神障害をもった人の地域ケア、世界の潮流について学ぶ。			

科目名	高齢者福祉論	科目群	専門科目（ヘルスケアとライフマネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	野口典子		
【概要】 本講義の目的は、21世紀少子・高齢社会の現状分析を通して、新たな社会システム構築を推進するための方法と方策について学ぶことである。現代の高齢者が辿った時代の理解、高齢社会の理解と問題の所在を明確にする。ついで高齢者福祉制度のあゆみの理解にたつて、法制度ならびに各施策の具体的内容の理解を行う。さらに、高齢者福祉実践の基本的理念と具体的援助方法の理解を踏まえ、今後の高齢者福祉の方向性について理解を深める。			

科目名	介護福祉論	科目群	専門科目（ヘルスケアとライフマネジメント分野）
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	木野美恵子		
【概要】 介護の歴史的展開を踏まえた上で、1. 介護の概念と枠組み、2. 介護の専門性とは何か、3. 生活の視点にたった要介護者のニーズ理解、4. 安全・安楽・快適を原則とした介護技術の基本、5. より良い介護関係維持のために必要な援助技術と他職種との連携の重要性、6. 介護政策及び公的介護保険におけるケアマネジメントに関する基本的な事項、について取り上げていく。生活の視点に立った実践レベルから政策レベルまで、事例等を紹介しながら、理解を深めていく。			

科目名	高齢者の生理	科目群	専門科目(ヘルスケアとライフマネジメント分野)
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	久保田競		
<p>【概要】我々の身体は、細胞から構成されており、我々が地球環境で生活し、生存する時には、我々の身体は、統合体として働いて、環境へ適応している。そして、脳が、身体の働きを制御している。まず、脳と身体の働きを勉強する。ついで、生まれてから死ぬまでに、加齢とともに、脳と身体の働きがどのように変わるかを勉強する。ついで、以下の質問に答えられるよう、最近の生理学の研究成果からの講義をする。加齢とともに、細胞の働きが低下するが(老化)、何故だろうか。脳細胞、筋肉細胞など、異なった働きをする細胞で、老化はどう違っているのだろうか。老化のメカニズムは何だろうか。生活の質は、加齢とともにどう変わるのだろうか。遺伝と老化はどう関係しているのだろうか。我々が死ぬ時、脳と身体の働きは、どのように変わっていくのだろうか。我々の寿命を決めている因子と、それを延ばす方法について。加齢とともに増える病気で、脳と身体がどう働いているだろうか。</p>			

科目名	福祉文化論	科目群	専門科目(ヘルスケアとライフマネジメント分野)
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	小惊喜一郎		
<p>【概要】社会福祉の分野で、文化という言葉の定義は不十分である。しかしながら、文化を生活としてとらえるならば、介護保険法によって医療と福祉が同じ法体系の中に把握されようとしているとき、我が国における福祉文化の今をどう読み解くかの課題は大きい。ここでは歴史学を初めとして民俗学などさまざまな人文科学分野の成果を取り入れながら、社会福祉の分野における文化とは何か考えていく。また、近年施設の生活の中で、利用者と若い職員のコミュニケーションのギャップが生まれてきている。このような現状の中に、福祉文化を介在させることで、両者のギャップの解消を図ることも併せて意図している。</p>			

科目名	健康と生涯スポーツ	科目群	専門科目(ヘルスケアとライフマネジメント分野)
単位数	2単位	科目の種類	放送授業・テキスト併修科目
担当教員	松井健		
<p>【概要】少子高齢化社会、高度情報化・自動化社会にあって健康とスポーツの役割は大きい。生涯にわたる心身の健康について、健康・スポーツ科学や体力科学の基礎的知見を基礎にライフサイクルと関連して学習する。特に健康の維持増進に果たすスポーツや身体活動の役割について実践的課題に引き付けて深める。また、障害を持つ人々のスポーツへの取り組みとその効果についても言及する。この学習で獲得した知識と実践能力を生涯を通して活用し、また、中には職業での専門的能力として生かす事を目指す。この科目は、テキストとCD-ROM教材を併用する新しい方法での講義である。</p>			

科目名	高齢者の心理	科目群	専門科目(ヘルスケアとライフマネジメント分野)
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	袴田明		
<p>【概要】現代、日本及び世界諸国は高齢者の諸問題に直面している。一つは、四十代から始まる能力の低下の諸問題、二つには、老化が進んで来た場合の対応に分けて考えてみる必要がある。これらの解明方法としては、生理心理学、臨床心理学、社会心理学の知識、技術を駆使して解決する創造性が当然必要とされる。人生全体を考えると、健常者、病者の成熟過程の中で役割をいかに遂行するか、さらにはいかに居場所を安定させるかということもこの講義と研究の対象となる。</p>			

科目名	社会福祉援助技術論	科目群	専門科目(ヘルスケアとライフマネジメント分野)
単位数	8単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	加藤俊二、平野隆之		
<p>【概要】社会福祉援助技術は、直接援助技術の分野である個別援助技術と集団援助技術によって、日々第一線で利用者を援助する学問として発展してきたが、近年間接援助技術の分野で、地域援助技術のみならず社会福祉調査法・社会福祉運営管理・社会活動法・社会計画法などの後方支援とも言うべき分野も大切になってきている。また、介護保険法の居宅介護支援、施設サービス計画の展開過程を理解する上でも社会福祉援助技術が果たす役割は大きい。本講は、対人援助に必要な人と人との信頼関係の築き方、コミュニケーションなど社会福祉の基本的な技術の習得とともに具体的事例に基づきながら実践の学問として応用できるように講義を進めていく。(第1分冊)対人援助技術を中心に、直接援助技術の分野である個別援助技術と集団援助技術について具体的事例に基づきながら、基本的な技術の習得に関する指導を分担する。(第2分冊)地域援助技術を中心に、地域福祉を志向する社会福祉援助技術を体系的に講義する。</p>			

科目名	メンタルヘルスとライフサイクル	科目群	専門科目(ヘルスケアとライフマネジメント分野)
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	田原孝		
<p>【概要】メンタルヘルスは、心の健康とよばれている。現代の家庭・学校の崩壊、職場や社会の対人関係、社会的規範の喪失などは、個人・家族・学校・職場・地域において、対処不能なストレスを生み出し、非及び反社会的な行動として現われる。本講義は、メンタルヘルスを「カオス・複雑系理論」の実証的な成果である「ホメオダイナミクス」の視点から論ずると共に、胎生期～終末期までのライフサイクルにそった、メンタルヘルスのあり方、リスク因子・対応などを臨床例をふまえて検討する。</p>			

科目名	シルバーファイナンス	科目群	専門科目（ヘルスケアとライフマネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	安宅川佳之		
<p>【概要】 高齢化社会における家計の収支の動向を明らかにし、高齢化社会の資産蓄積を支える年金・保険・投資信託、資金調達面ではリバース・モーゲジなどのシステムについて講じる。低金利下で自己責任原則による資産運用が個人にも求められており、アクティブな高齢者も増加する方向にある。格付制度や、株式・債券・外国証券を含むポートフォリオの運用基礎理論を、特にリスク・マネージメントに重点を置き、例題学習でマスターさせる。</p>			

科目名	生涯学習論	科目群	専門科目（ヘルスケアとライフマネジメント分野）
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	那須野隆一		
<p>【概要】 生涯学習は、学習機会としては「生涯にわたる学習」（生涯継続学習）であり、学習目的としては「生涯のための学習」（生涯設計学習）である、という観点を重視する。その場合、生涯継続学習の基調は、人びとが生涯という時間を共有することの重要性、つまり世代共生の意義を教授することであり、生涯設計学習の基調は、人びとが生涯という空間を共有することの重要性、つまり地域共創の意義を教授することである。以上、世代共生と地域共創を中心に生涯学習論を展開する。</p>			

科目名	医療・福祉サービス論	科目群	専門科目（ヘルスケアとライフマネジメント分野）
単位数	2単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	近藤克則		
<p>【概要】 本講義では、医療福祉サービスのあり方やその質を高める方法、それらを考える上で必要な基礎知識を学ぶ。健康に関連するQOL（quality of life, 生活・人生の質）や、国際生活機能分類（ICF）、ケアマネジメント、チームマネジメント、福祉事業者、政策レベルまで取り上げる。これらすべてにおいてマネジメントの考え方が有用であること、一方で医療福祉における特異性を学ぶ。</p>			

科目名	精神科リハビリテーション学	科目群	専門科目（ヘルスケアとライフマネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	田原孝	学年配当	4年
<p>【概要】 精神障害のある方々に対するリハビリテーションについて、その概要を学ぶ。主な対象疾患は統合失調症（精神分裂病）、躁うつ病、てんかん等であるが、リハビリテーションの焦点は生活におかれるため、さまざまな病や障害をもちながらも新たな人生を送ろうとする人々を支援する思想と技術である。 わが国では、精神障害とその社会復帰・社会参加が法的に認められたのはようやく1987年であり、社会復帰施設の数は増えつつあるものの、そこで実践されるべき思想と技術がともなっていないきらいがある。 精神障害リハビリテーションに関する歴史、制度、社会資源、プログラム、各種技術、チームワークなどを理論的に学ぶ。</p>			

科目名	精神保健福祉援助技術総論	科目群	専門科目（ヘルスケアとライフマネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	青木聖久		
<p>【概要】 精神保健福祉における専門職として精神保健福祉士の果たす役割や精神障害者に対する基本的視点と態度、精神保健福祉活動の意義と目的、理論と歴史を学ぶ。また、精神障害者を中心とした社会福祉サービスと援助活動の体系と展開について理解し、社会福祉援助活動の考え方や専門的援助技術の基礎を修得する。</p>			

科目名	精神保健福祉援助技術各論	科目群	専門科目（ヘルスケアとライフマネジメント分野）
単位数	4単位	科目の種類	テキスト科目
担当教員	青木聖久		
<p>【概要】 精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの必要性は精神保健福祉論等からも理解できる。本講義では社会福祉援助実践に必要な社会福祉援助技術・方法について理解を深めるとともに、精神障害者の疾病や障害、障害者を取り巻く家族やその関係者・地域を対象とした場合の特徴を理解した上での実際の援助技術・方法の習得を目指す。 個別援助技術、集団援助技術、地域援助技術について理解するとともに、精神障害者やその家族、精神障害者を取り巻く地域を対象とした援助技術・方法について事例検討などをとおして理解する。また精神障害者の地域生活支援の方法として関連するケアマネジメントやネットワークングについても理解をすすめる。 特に昨年は障害者福祉、精神保健・医療分野も大きな制度改正を迎えた。その中で制度上の方法とソーシャルワークの関係について注意を払いたい。</p>			

資格科目

科目名	社会福祉援助技術演習	科目群	資格科目
単位数	4単位	科目の種類	テキスト・スクーリング併修科目
担当教員	小惊喜一郎 他	学年配当	4年

【概要】 具体的な援助事例を体系的に取りあげるなどして、社会福祉援助技術をその援助課程を含め具体的に理解し、具体的な援助場面を想定した実技指導を実施し、社会福祉援助技術を身に付ける。

本演習の目標は以下のとおりである。

1. 社会福祉の専門援助技術を、具体的な事例や援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を中心とする演習形態により、社会福祉援助技術に関する講義及び現場実習と関連させながら、個別指導ならびに集団指導を通してその精度を高めつつ学習する。
2. 学生個々人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動する態度を涵養する。演習のなかで、具体的に人権尊重、権利擁護、自立支援について理解し、実際に行動できるようにする。さらに、在宅での生活支援も視野に入れて理解する。

科目名	社会福祉援助技術現場実習	科目群	資格科目
単位数	4単位	科目の種類	実習科目
担当教員	小惊喜一郎 他	学年配当	4年

【概要】 実習施設において4週間（24日・180時間以上）の配属実習を行う。実習日誌等の実習記録を作成し、実習終了後に実習記録及び実習報告書（レポート）を提出する。実習の目標は以下のとおりである。

1. 現場体験を通して社会福祉専門職（社会福祉士）として仕事をするうえで必要な「専門知識」、「専門援助技術」及び「関連知識」の内容の理解を深める。
2. 「専門知識」、「専門援助技術」及び「関連知識」を実際に活用し、相談援助業務に必要な資質・能力・技術を習得する。
3. 職業倫理を身につけ、福祉専門職としての自覚にもとづいた行動ができるようにする。
4. 具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。
5. 関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を理解する。

科目名	社会福祉援助技術現場実習指導	科目群	資格科目
単位数	1単位	科目の種類	スクーリング科目
担当教員	小惊喜一郎 他	学年配当	4年

【概要】 実習前に実習生としてふさわしい基礎的な知識、援助技術及び態度を身に付け、実習の目標や意義について理解する。実習計画書や実習日誌の作成指導を行う。

本科目の目標は以下のとおりである。

1. 社会福祉援助技術現場実習の意義について理解する。
2. 社会福祉援助技術現場実習を通じて、大学で学んだ専門知識、専門援助技術及び関連知識の内容の理解を深める。
3. 実践的な技術等を実際に活用し、相談援助業務に必要な資質・能力・技術を習得する。
4. 福祉に関する相談援助の専門職としての自覚を促し、専門職として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得できるようにする。

科目名	精神保健福祉援助演習	科目群	資格科目
単位数	2単位	科目の種類	テキスト・スクーリング併修科目
担当教員	青木聖久	学年配当	4年

【概要】 個々にとっての「疾患」「障害」とそこから生じる「生活課題」「生活問題」に対する精神保健福祉士の視点と援助技術について学習する。事例や実習で体験した場面などを通して、精神保健福祉士に求められている役割は何か、適切に応えられるための援助技術や知識とは何かなどの討議を深める。学生にとって視点と援助技術への関心と、さらに、自己への客観視及び主体的に行動する力、何よりも、精神障害者を深く理解する力を養える場としたい。

科目名	精神保健福祉援助実習	科目群	資格科目
単位数	6単位	科目の種類	実習・スクーリング併修科目
担当教員	青木聖久	学年配当	4年

【概要】 現場実習を軸に、精神障害者の医療と生活にかかわる諸施設・諸機関（医療機関、社会復帰施設、行政機関など）の実情とそれらを利用している当事者・家族への理解を深める。彼らの「疾患」「障害」の実態とそこから生じる「生活課題」「生活問題」を把握し、当事者とともその改善・解決に向かう精神保健福祉士の幅広い実践を学ぶ。さらに、実習クラスのなかで討議を深め、精神保健福祉領域における社会福祉実践とは何か、視点・技術・知識とは何かを問い直し、問題意識を育てあえる場としたい。

資格科目のスクーリング開講日程および会場は【P.81～】をご参照ください。

(2) オンデマンド科目

科目名	福祉社会入門	科目群	共通基礎科目
単位数	2単位	科目の種類	オンデマンド科目
担当教員	加藤幸雄		

【概要】「福祉」という言葉は「しあわせ」を意味する。その英文であるウェルフェアは、「よりよく生きる」という意味である。福祉社会は、「いのち」「くらし」「いきがい」を大切に、人がゆたかに生きてくことを支える社会である。福祉社会を実現するためには、社会福祉をはじめとして、さまざまな分野の研究や実践が力を合わせる必要がある。これを日本福祉大学では「人間福祉複合」と呼んでいる。「福祉社会入門」では、「人間福祉複合」の観点から「福祉」への接近について学ぶ。

科目名	福祉情報技術	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
単位数	2単位	科目の種類	オンデマンド科目
担当教員	中邑賢龍		

【概要】アシスティブテクノロジー（Assistive Technology：以下、AT）は、日本では「福祉用具」「支援技術」といわれる分野であり、「障害を持つ人の生活を助けるテクノロジー」を意味する。車いす、自助具、コミュニケーション機器等あらゆる生活場面で利用される福祉用具や住宅・まちづくり等の環境整備は、ATの役割でもあり、最近はコンピュータを利用した「e-AT（福祉情報技術：以下、e-AT）」も一般化しつつある。この講義では実際の相談導入・利用事例の概説を含め、e-ATの概要を学ぶ。

科目名	福祉経営序論（オンデマンド版）	科目群	共通基礎科目
単位数	2単位	科目の種類	オンデマンド科目
担当教員	斎藤千宏		

【概要】福祉経営の概念とりわけ新しいマネジメントの概念について具体的事例を織り込みつつ、学習する。学習内容全体と現実の諸課題との関連を明らかにし、学習意欲を高めるとともに、4年間の学習設計を意識させる。

科目名	スポーツマネジメント	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
単位数	2単位	科目の種類	オンデマンド科目
担当教員	松井健		

【概要】本講義では、生涯スポーツ実践に関わる個人のマネジメントや国・地域・社会・企業などが連携して行うスポーツマネジメントについて解説する。前半の講義では、ライフサイクルに応じたスポーツ実践の考え方および具体的方法について触れる。後半の講義では、スポーツを取り巻く社会環境について触れ、スポーツが果たす社会的役割について考察する。

科目名	実践英会話	科目群	共通基礎科目
単位数	2単位	科目の種類	オンデマンド科目
担当教員	影戸誠		

【概要】看護師の洋子さんがハワイの病院の視察を行うというストーリーで基本的な英会話を学ぶが、英会話だけではなく、英語を使う場面での基本情報、異文化についても学ぶ。アポイントの取り方、パスポートの取得や、英文電子メールなどの学習も行いPCの特性を生かし、単語の反復練習を行う。英語レベルは英語Ⅰを想定。単語数は1500語レベル。

科目名	英語プレゼンテーション	科目群	共通基礎科目
単位数	2単位	科目の種類	オンデマンド科目
担当教員	影戸誠		

【概要】学習者に関連の深い事柄を簡単平易な英語表現で説明できるようにする。特に福祉、看護に関する事柄を英語で語れるようにする。日本の施設に海外からの訪問者があったとき、最低限の情報を与えることができると同時に、福祉に関する基本情報を語れるようにする。単語英語レベルは2000語レベルを適用。英検準2級レベル。

科目名	インターネット演習Ⅰ	科目群	共通基礎科目
単位数	2単位	科目の種類	オンデマンド科目
担当教員	佐藤慎一		

【概要】パソコンやインターネットなどについての基本的な内容を学習する。具体的には、ワープロ、表計算ソフトの基本的な活用の他、画像の取り扱い、ネットワークを用いたコミュニケーションなどを取り上げる。基本的な事項を確実におさえることにより、道具として適切に、安心して、自分なりのスタイルで有効に活用していくことができるようになることを目指す。

科目名	インターネット演習Ⅱ	科目群	共通基礎科目
単位数	2単位	科目の種類	オンデマンド科目
担当教員	影戸誠		
<p>【概要】 情報を正確に、スマートに相手に伝える。これがこの科目のテーマである。日本人は思いこみが強く、情報伝達が下手だといわれるが、方法さえわかれば効果的な情報伝達が可能である。話す組立を考え、効果的な図やグラフを使い、さらには伝達力ある話し方のポイントを学ぶ。職場や学校での魅力あるプレゼンテーションは今後ますます重要になってくる。これを機会にその手法を是非、身につけてほしい。</p>			

科目名	国際福祉開発	科目群	専門科目（コミュニティマネジメント・国際協力分野）
単位数	2単位	科目の種類	オンデマンド科目
担当教員	斎藤千宏		
<p>【概要】 人々の福祉が高まるためには、政府行政、市場制度、地域社会の住民力、NGO/NPOなどの市民力が効果的に影響しあうことが必要であるとの視点に立ち、途上国において女性、教育、保健医療、障害者などの分野でどのような試みがなされているのかを、多くのゲストによる講義を通して学ぶ。</p>			

※各科目の担当教員、概要については変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
 ※オンデマンド科目は後期（10月）より学習開始となり、履修期間は半期のみとなります。
 ※開講内容が変更される場合がありますのでご了承ください。

(3) スクーリング科目

【スクーリング授業時間帯】

1 日目		2 日目	
第 1 講	9:00～10:10	第 9 講	9:00～10:10
第 2 講	10:15～11:25	第 10 講	10:15～11:25
第 3 講	11:30～12:40	第 11 講	11:30～12:40
第 4 講	13:30～14:40	第 12 講	13:30～14:40
第 5 講	14:45～15:55	第 13 講	14:45～15:55
第 6 講	16:00～17:10	第 14 講	16:00～17:10
第 7 講	17:15～18:25	第 15 講	17:15～18:25
第 8 講	18:30～19:40		

※スクーリング科目の当日のスケジュールと内容は変更されることがあります。また事前課題が課せられる場合があります。これらは入学後に本学通信教育部ホームページでお知らせします。

【2007 年度スクーリング科目】 スクーリング科目一覧は【P. 80～】をご参照ください。

科 目 名	福祉経営序論		
単 位 数	2 単位	科 目 群	共通基礎科目
教 員	斎藤千宏		
日程／開講地	2007 年 5 月 26 日（土）～27 日（日）／美浜（本学）		
【概要】通信教育課程の導入教育として、福祉経営とは何かを明らかにし、福祉経営を学ぶうえでの課題や方法について論ずる。講義を通じ、福祉経営学習の全体の見取図を与え、知識の追求、問題解決の探求、資格の取得等々に向けての学習意欲を喚起する。			
1 日目	内 容（予定）		
第 1 講	開講式、オリエンテーション		
第 2 講	全体講義（1）		
第 3 講	講義（経済・経営概論、地域・開発概論、医療・福祉概論を各 1 講ずつ行う）		
第 4 講			
第 5 講	学習システムについての講義（学習指導講師）		
第 6 講			
第 7 講	質疑応答・意見交換（交流会）		
第 8 講			
2 日目	内 容（予定）		
第 9 講	全体講義（2）		
第 10 講	講義（ビジネスマネジメント、ヘルスケアとライフマネジメント、コミュニティマネジメント・国際協力、医療・福祉マネジメントの 4 分野に分けて実施する。）		
第 11 講			
第 12 講	セミナー、ワークショップ、質疑応答等も取り入れて実施する。また並行して図書館ガイダンス・実習ガイダンスも実施する。		
第 13 講			
第 14 講	科目修了試験（または試験に相当する筆記レポート作成）		
第 15 講	パソコンガイダンス・その他相談を並行して実施する。		

「福祉経営序論」の履修について

「福祉経営序論」は本学通信教育課程の導入教育として開講される科目です。必修科目ではありませんができるだけ履修してください。

なお、この科目は以下の 2 通りの授業形態で開講されます。

- ①スクーリング科目「福祉経営序論」
- ②オンデマンド科目「福祉経営序論（オンデマンド版）」【P. 67】

授業形態は異なりますが同一内容となっておりますので、いずれか 1 科目のみ履修可能となります。履修を希望する場合、「⑬2007 年度履修登録用紙」にはいずれか 1 科目のみをマークするようにしてください。

科目名	変わり行く企業社会Ⅰ ～福祉事業の経営とは何か～		
単位数	2単位	科目群	専門科目（ビジネスマネジメント分野）
教員	竹下隆		
日程／開講地	2007年6月16日（土）～17日（日）／東京		
【概要】福祉をも採算で考える企業社会の到来は、何もかも経営戦略の達成で事業目的を成立させようとする時代を作り上げました。ここで改めて、従来からの企業経営とは何かを問い直し、経営意識の変動期に対応する心構えと、福祉経営の現実を掴み取っていただく。			

科目名	変わり行く企業社会Ⅱ ～福祉経営の安全とは何か～		
単位数	2単位	科目群	専門科目（ビジネスマネジメント分野）
教員	竹下隆		
日程／開講地	2007年11月17日（土）～18日（日）／東京		
【概要】現代企業社会の進展は＜最大多数の最大幸福＞を目標に、＜規模の経済性＞を実現させてきたように見えるが、反面には大規模な危険を抱えることになり、企業的にも社会的にも安全確保にはたびたび失敗してきた。その課題解決に向かっていく危機管理学、安全学、失敗学などが目指す経営の安全力学を解説しながら、福祉経営の安全を掴み取っていただく。			

科目名	医療・福祉の経営・会計		
単位数	2単位	科目群	専門科目（ビジネスマネジメント分野）
教員	新谷司		
日程／開講地	2007年8月11日（土）～8月12日（日）／大阪		
【概要】経営分析の手法等を利用して行われる分析によって、日本の医療事業、福祉事業の経営と会計の特徴を理解する。 〈参考〉2006年度のスクーリング内容 (1)病院会計・経営分析入門（第1講）、医療制度と病院施設の経営（第2講～第4講）、バランスト・スコアカードの導入（第5講～第6講）、DPCの導入（第7講～第8講）、病院の経営分析（第9講～第11講）、福岡県立病院の経営再建（第12講～第14講） (2)企業会計入門（第1講）、福祉事業会計入門（第2講）、福祉事業経営分析入門（第3講）、障害者・児福祉事業と経営（第4講～第7講）、まとめ（第8講）、老人福祉事業と経営（第9講～第11講）、児童保育事業と経営（第12講～第14講）			

科目名	日本企業の経営・会計		
単位数	2単位	科目群	専門科目（ビジネスマネジメント分野）
教員	新谷司		
日程／開講地	2007年10月27日（土）～10月28日（日）／福岡		
【概要】経営的分析手法等を利用して行われる分析によって日本の自動車産業の経営と会計の特徴を理解する。 〈参考〉2006年度のスクーリング内容 会計入門と経営分析入門（第1講）、日産の経営分析（第2講）、トヨタの経営分析（第3講～第5講）、トヨタの労働現場の分析（第6講～第8講）、日本株式会社の経営分析（第9講～第11講）、日産の経営再建分析（第12講～第14講）			

科目名	現代のビジネスマネジメント ～現代ビジネスマネジメントの潮流と賢い消費者～		
単位数	2単位	科目群	専門科目（ビジネスマネジメント分野）
教員	小木紀親		
日程／開講地	2007年7月7日（土）～7月8日（日）／名古屋		
【概要】本スクーリングでは、現場市場におけるビジネスマネジメントの潮流及びマーケティング活動の一端と、そこに集う企業や消費者の双方を意識しながら講義を進めていく。具体的には、市場において企業及び消費者双方にとって必要不可欠な「批判的精神」の考え方を学んだ後、有名企業の意外なビジネス、マーケティングの基礎理論、ヒット商品の源泉の解明などを通じて、本テーマを浮き彫りにしていきたい。また、分科会では、それぞれ関心のある領域・テーマに分かれて、少人数の中でグループディスカッションや発表を行ったり、ゲストスピーカーを招いて本テーマに関わる講義を行うなど、多面的に本テーマをとらえながら、受講者には「考える」という作業を行ってほしい。それが本スクーリングの特徴であり、狙いでもある。			

科目名	医療・介護のマネジメント		
単位数	2単位	科目群	専門科目（ビジネスマネジメント分野）
教員	橋口徹		
日程／開講地	2007年6月9日（土）～6月10日（日）／岡山		
	2007年7月14日（土）～7月15日（日）／美浜（本学）		
	2007年9月1日（土）～9月2日（日）／東京		
【概要】現在、診療報酬・介護報酬の改定時における引き下げや医療制度改革関連法案の成立など、医療・介護にかかる施設のマネジメントは大きな転換点を迎えており、この変革期において、今後の施設マネジメントに求められるポイントについて探っていく。			

科目名	非営利組織のマネジメント		
単位数	2単位	科目群	専門科目（ビジネスマネジメント分野）
教員	橋口徹		
日程／開講地	2007年10月13日（土）～10月14日（日）／名古屋		
【概要】営利を目的としない非営利組織であっても、それを上手く運営していくうえで「マネジメント」の概念は、大変重要なものとなる。とりわけ本講義では、急激な少子高齢化を背景に大きな変革期を迎えている、医療・介護分野のマネジメントに着目しつつ議論を行っていきたい。			

科目名	ヘルスサービス・マネジメント		
単位数	2単位	科目群	専門科目（ビジネスマネジメント分野）
教員	橋口徹		
日程／開講地	2007年10月20日（土）～10月21日（日）／美浜（本学）		
【概要】現在わが国では、少子高齢化を背景に、医療・介護サービスを提供する施設のマネジメントは大きな転換点を迎えている。本講義では、変革期にある医療・介護サービスと、それらを提供する施設のマネジメントについて、多角的に論じることを目的としている。			

科目名	環境経営と環境ビジネス ～企業戦略としての環境経営と環境ビジネス動向～		
単位数	2単位	科目群	専門科目（ビジネスマネジメント分野）
教員	安藤眞		
日程／開講地	2007年9月1日（土）～9月2日（日）／東京		
【概要】企業経営において環境問題は避けて通れない現在、各企業が取り組む環境マネジメントシステムの現状をレポート、また環境への負荷（ダメージ）の改善を図る技術（製品）やサービスを提供する環境ビジネスへ参入する事業事例の考察。①環境経営と企業の社会的責任（CSR）の取り組み事例 ②環境政策と環境法 ③技術系環境ビジネス ④サービス系環境ビジネス、など。			

科目名	地域再生		
単位数	2単位	科目群	専門科目（コミュニティマネジメント・国際協力分野）
教員	雨森孝悦		
日程／開講地	2007年6月9日（土）～6月10日（日）／福岡 2007年12月8日（土）～12月9日（日）／千葉		
【概要】日本では、中心市街地の空洞化、コミュニティの崩壊や中山間地域の衰退などにより、地域再生や地域づくりが大きな課題となっている。ここでは、こうした問題の背景や性質について学び、豊かな地域を自分たちの手でつくるにはどうしたらよいかということについて考える。			

科目名	国際開発と貧困問題		
単位数	2単位	科目群	専門科目（コミュニティマネジメント・国際協力分野）
教員	雨森孝悦		
日程／開講地	2007年10月13日（土）～10月14日（日）／名古屋 2007年11月17日（土）～11月18日（日）／東京		
【概要】グローバル化が進展する一方で、世界には依然として貧困削減が大きな問題として横たわっている。この科目では、発展途上国における貧困の性質や貧困を減らしていくためのアプローチについて、ワークショップもまじえて具体的に検討するとともに、私たちの生活との関連について見ていく。			

科目名	地球環境問題Ⅰ		
単位数	2単位	科目群	専門科目（コミュニティマネジメント・国際協力分野）
教員	斎藤千宏		
日程／開講地	2007年11月17日（土）～11月18日（日）／香川		
【概要】地球温暖化と比べるとその顛末を想像することが難しいのが生物多様性の喪失の問題である。生物多様性がなぜ重要なのか、世界的規模で進む経済社会の画一化、遺伝子組み換え作物、食と文化の多様性等について学ぶ。			

科 目 名	地球環境問題Ⅱ		
単 位 数	2単位	科 目 群	専門科目（コミュニティマネジメント・国際協力分野）
教 員	斎藤千宏		
日程／開講地	2007年10月27日（土）～10月28日（日）／新潟		
【概要】地球温暖化は人類の存亡を左右しかねない大問題であることが急速に明らかになってきた。地球温暖化防止の第一歩とされる京都議定書について、そして温暖化ガスの排出量取引の仕組みと実態、自然エネルギー普及への道筋等について、世界的視野から学ぶ。			

科 目 名	ジェンダーと国際社会開発		
単 位 数	2単位	科 目 群	専門科目（コミュニティマネジメント・国際協力分野）
教 員	斎藤千宏		
日程／開講地	2007年7月14日（土）～7月15日（日）／石川		
【概要】途上国の低所得者地域や貧困地帯では、地域の女性たちが集団的行動をもとに生計をたて生活環境を改善していく動きが広がっている。インドの具体的な事例を取り上げ、またジェンダー（社会的性差）を切り口に地域開発の新たな展開を学ぶ。			

科 目 名	開発・障害・地域－Ⅰ ～文化と宗教から福祉開発と平和を考える～		
単 位 数	2単位	科 目 群	専門科目（コミュニティマネジメント・国際協力分野）
教 員	野崎泰志		
日程／開講地	2007年12月8日（土）～12月9日（日）／大阪		
【概要】福祉を通して、異文化の間で国際協力・国際交流を進める時、最も深いところで、文化のあり方の違いや宗教・思想・信条の違いに行き当たる。その違いをどう受け止めるか、そしてその上でどう現実の生活過程を考え直すか、そういうことについて考えていく。			

科 目 名	開発・障害・地域－Ⅱ ～障害から国際福祉を考える～		
単 位 数	2単位	科 目 群	専門科目（コミュニティマネジメント・国際協力分野）
教 員	野崎泰志		
日程／開講地	2007年10月20日（土）・10月21日（日）／美浜（本学）		
【概要】国際障害者年から20数年が経ち、尚その歩みは続いている。障害を通して世界を見通すと、遅れている日本の福祉政策が一方において見え、また他方において真摯に取り組んでいる当事者や家族の姿も見えてくる。Community Based Rehabilitation（地域に根ざしたりハビリテーション）などの世界の流れに学びながら足下の一步を踏み出す戦略を考える。			

科 目 名	開発・障害・地域－Ⅲ ～Disability & Development（障害と開発）から地域社会と自立生活の原点を考える～		
単 位 数	2単位	科 目 群	専門科目（コミュニティマネジメント・国際協力分野）
教 員	野崎泰志		
日程／開講地	2007年6月16日（土）・6月17日（日）／東京		
【概要】開発協力の世界でも、近年障害分野は注目されるようになり、「障害と開発」というテーマで重点化されつつある。その際、先進工業国での成果を持ち込むというよりも、発展途上国での自発的な取り組みが重視されている。そこに、私たちが忘れてしまった地域社会のあり方や、地域に根ざした自立生活が新たに見えて来るのではないかと、ということについて語りあう。			

科 目 名	福祉開発評価 ～NPO/NGOの評価と福祉経営―政策評価から組織評価まで～		
単 位 数	2単位	科 目 群	専門科目（コミュニティマネジメント・国際協力分野）
教 員	野崎泰志		
日程／開講地	2007年7月14日（土）～7月15日（日）／美浜（本学）		
【概要】近年、政策評価が導入されて以来、福祉を含めて公共事業の様々なレベルで評価が行われるようになった。非営利の団体が行う事業についても、様々な評価の試みがなされている。サービスの受け手や働く者にとっての評価とは何か、本当の改善とは何かについて、参加型評価の今後について考える。			

科目名	社会福祉政策国際比較 ～スウェーデンと日本の生活安全保障制度～		
単位数	2単位	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
教員	訓覇法子		
日程／開講地	2007年8月4日（土）～8月5日（日）／福岡		
	2007年10月13日（土）～10月14日（日）／沖縄		
	2007年12月8日（土）～12月9日（日）／広島		
【概要】経済や政治の国際化ならびに高齢化・少子化の本格化にともなって、先進諸国は経済政策、社会政策、環境政策の統合など一連の改革あるいは再編成を余儀なくされている。現代社会の変容に伴って人びとが遭遇する社会的事故は多様化し、日本の社会保障制度は生活安全保障という根幹的な機能を十分果たせなくなってきている。何故なのか？福祉国家スウェーデンの生活安全保障制度を基軸として、日本の生活安全保障制度の特質とその限界性を批判的に考察する。ひいては、福祉国家とは何かその条件を明らかにし、福祉ミックス社会との類似性・差異を明確にする。			

科目名	医療・福祉の創造と経営Ⅰ ～医療・福祉のパラダイムシフト～		
単位数	2単位	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
教員	田原孝		
日程／開講地	2007年6月16日（土）～6月17日（日）／大阪		
【概要】医療や福祉が指向してきた従来の科学、客観性を基本にすえ、要素還元的で分析的な視点や方法は「線形的なパラダイム」を基盤とするものである。この線形的パラダイムを包含し超えるものが「非線形パラダイム（カオス・複雑系理論）」である。まず、様々な事例を挙げながら、線形と非線形のイメージを構築する。			

科目名	医療・福祉の創造と経営Ⅱ ～成果主義を超えて～		
単位数	2単位	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
教員	田原孝		
日程／開講地	2007年7月7日（土）～7月8日（日）／名古屋		
【概要】一般企業では失敗したにも関わらず、現在、医療評価で使用され、福祉で導入しようとしている「成果主義」の意味やその基本構造と限界を示す。また、「成果主義」を超える視点や評価の仕組みを示す。			

科目名	医療・福祉の創造と経営Ⅲ ～組織と利用者の意識の「ギャップ分析」～		
単位数	2単位	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
教員	田原孝		
日程／開講地	2007年10月6日（土）～10月7日（日）／東京		
【概要】非線形の世界に対応する方法と線形の世界に対応する方法を比較する。その上で非線形の現象である医療や福祉行為を「線形近似」する方法を示す。この方法は、施設の常軌的な（Routine）意思決定ではなく、戦略的意思決定に有用であり、どのような側面で活用できるかも討論する。			

科目名	医療・福祉の創造と経営Ⅳ ～「マネジメント」から「アドミニストレーション」へ～		
単位数	2単位	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
教員	田原孝		
日程／開講地	2007年10月20日（土）～10月21日（日）／埼玉		
【概要】医療・福祉領域では、「措置からサービスへ」、「契約からサービスへ」は、現在、当然の戦略であるが、今後はそれを超え、「サービスからミッション」の流れは、避けて通れない。この背景にある新たなコスト概念を提示し、新たなコスト概念、アドミニストレーション、ミッションなどとの関連を考える。			

科目名	医療・福祉の創造と経営Ⅴ ～「インセンティブスキーム」と「医療原価管理」の導入～		
単位数	2単位	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
教員	田原孝		
日程／開講地	2007年11月3日（土）～11月4日（日）／美浜（本学）		
【概要】医療・福祉経営に従来、意識化されず、それ故に欠如していた主題が「ひとりひとりの意欲と成長（インセンティブ）」の育成と「医療原価の概念である。これらを現場で日々の行為として実践できるように工夫し現実化した仕組みを提示し、実践の結果をデータや分析結果に基づいて議論、分析する。			

科目名	医療・福祉の創造と経営Ⅵ ～リーダーを育成する～		
単位数	2単位	科目群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
教員	田原孝		
日程／開講地	2007年12月15日（土）～12月16日（日）／名古屋		
【概要】企業のみならず、医療・福祉領域でも組織が健全に発展し、不正を未然に防ぎ、不正が起きても最小限に食い止めるには、誰が見ても正しい「経営哲学」とそれに基づく「経営システム」の確立が不可欠である。リーダーに必要な理念と要件、「全員参加経営としてのアドミニストレーション」を管理会計システムの構築を事例として示し、検討する。			

科 目 名	医療福祉システムの理論と実践		
単 位 数	2単位	科 目 群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
教 員	李忻		
日 程 / 開 講 地	2007年7月14日（土）～7月15日（日）／埼玉		
	2007年8月11日（土）～8月12日（日）／千葉		
	2007年10月6日（土）～10月7日（日）／大阪		
	2007年11月3日（土）～11月4日（日）／北海道		
	2007年11月17日（土）～11月18日（日）／静岡		
	2007年12月15日（土）～12月16日（日）／岡山		
<p>【概要】 少子高齢化の進展、疾病構造の変化、医療技術の進歩、人々の価値観及び生活スタイルの多様化などによって、人々を取り巻く医療福祉環境は目まぐるしく変化している。医療福祉システムをはじめ、日本の社会保障システム全体においては、日本経済の復興と共に発展し、医療福祉サービスを受けられる対象者の範囲が拡大し、サービスの量も多くなってきたが、今日は社会人口構成及び社会経済の変化によって、賦課方式をベースとする社会保障制度の維持は困難に直面している。さらに、医療福祉サービスの提供においては利用者本位のサービス提供が求められていると同時に、福祉サービスは措置制度から契約へと変わり、利用者にも応益負担を求める傾向がある。この講義では、昨今の医療福祉制度の仕組みや制度の創設の背景、制度の恩恵を受ける対象者、医療福祉サービスの提供者、医療福祉システムを支える財源などの視点から、医療福祉システムについて学習する。医療福祉分野の第一線で活躍している研究者や現場の専門家を招いたゲスト講義や分科会も行う予定である。</p>			

科 目 名	医療福祉経営戦略 ～医療福祉経営における課題と戦略～		
単 位 数	2単位	科 目 群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
教 員	若山雅博		
日 程 / 開 講 地	2007年7月7日（土）～7月8日（日）／長野		
	2007年8月4日（土）～8月5日（日）／東京		
	2007年10月27日（土）～10月28日（日）／大阪		
<p>【概要】 医療福祉経営は企業経営理論をそのまま適用しようとしても困難である。その理由はサービスの専門性や公共性、医療福祉専門職の特性、専門職組織の特性などが原因である。しかも自由な競争市場ではなく医療福祉制度や政策に大きく依存する。これらを踏まえて新たな医療福祉経営戦略の枠組みを検討する。ゲスト講師の問題提起に基づき、グループ・ディスカッションや発表などを組み込んで参加型・双方向型の授業を試みる。</p>			

科 目 名	社会福祉と権利擁護		
単 位 数	2単位	科 目 群	専門科目（医療・福祉マネジメント分野）
教 員	矢野和雄		
日 程 / 開 講 地	2007年9月1日（土）～9月2日（日）／美浜（本学）		
<p>【概要】 権利擁護の意義についてはすでに広く認識されているところであるが、重要なことは、これをいかに社会福祉の現場で実践するかということである。本講義では具体的な法律・制度の枠組みを学びつつ実践的な権利擁護の行動規範のあり方の一例を検討する。</p>			

科 目 名	精神障害者 <small>しょうがいしゃ</small> と福祉実践		
単 位 数	2単位	科 目 群	専門科目（ヘルスケアとライフマネジメント分野）
教 員	青木聖久		
日 程 / 開 講 地	2007年8月4日（土）～8月5日（日）／名古屋		
	2007年8月11日（土）～8月12日（日）／大阪		
	2007年12月15日（土）～12月16日（日）／東京		
<p>【概要】 現代社会において、精神障害を有する、ということは決して一部の人の問題ではない。そして、例え自分が精神障害者、あるいはその家族になったとしても胸を張って暮らせる社会、が真のノーマライゼーション社会ともいえる。このようなごく当たり前の社会のあり方を目指し、実践するのが精神保健福祉士（PSW）である。この科目では、精神障害者が暮らす社会の現状及びPSWが実践する中身について紹介することを通して「自分たちができること」について一緒に考えていきたいと思う。 ※この科目を受講する方は、以下の文献を前もって読んでほしい。 『精神保健福祉士（PSW）の魅力と可能性』やどかり出版</p>			

科 目 名	障害者政策と自立支援 ～スウェーデンと日本の類似性と差～		
単 位 数	2単位	科 目 群	専門科目（ヘルスケアとライフマネジメント分野）
教 員	訓覇法子		
日 程 / 開 講 地	2007年8月11日（土）～8月12日（日）／新潟		
	2007年10月6日（土）～10月7日（日）／福岡		
	2007年10月20日（土）～10月21日（日）／岡山		
	2007年10月27日（土）～10月28日（日）／大阪		
	2007年12月15日（土）～12月16日（日）／名古屋		
【概要】2006年4月から、就労および地域生活を進め自立を支援するという障害者自立支援法が施行された。他の先進諸国より一足先に、すべてのケア分野における脱施設化を遂行し、障害者の経済的・社会的自立を図ったのが福祉国家スウェーデンである。スウェーデンの経験が示すのは、脱施設化とは単に施設を全廃し、雇用を割り当て、グループ住宅を建てれば障害者の自立した地域生活が実現するものではないことである。教育、就労、家族、余暇などの生活全分野における自立を実現するには、何が必要とされるのか？スウェーデンの普遍的な社会政策と連動した障害者政策の経験を学び、自立支援法を批判的に考察する。			

科 目 名	ヘルスケア産業論		
単 位 数	2単位	科 目 群	専門科目（ヘルスケアとライフマネジメント分野）
教 員	安宅川佳之		
日 程 / 開 講 地	2007年6月16日（土）～6月17日（日）／大阪		
【概要】ヘルスケア産業の中軸となる医療・介護関連業界の動向について学ぶ。まず、①医療福祉関連業務の問題点と解決策についてグループ・ディスカッションを行う。②ヘルスケア産業にとって収入動向を決定する社会保険制度の仕組みと、現在の財政状況について理解し、③関連諸企業（主として上場企業）の経営状況を学ぶことから、ヘルスケア産業に市場サイドから光を当て、業界の実態と今後の動向について学ぶ。			

科 目 名	年金と資産運用		
単 位 数	2単位	科 目 群	専門科目（ヘルスケアとライフマネジメント分野）
教 員	安宅川佳之		
日 程 / 開 講 地	2007年9月1日（土）～9月2日（日）／美浜（本学）		
【概要】超高齢化時代を迎えて、高齢期のための経済準備が益々重要となっているが、高齢期の生活保障の柱となる年金制度の現状と将来展望について学び、高齢者の生活保障に関する問題について、グループ・ディスカッションを行う。さらに、自助努力による老後資金準備について、①ライフプランの作成方法、②資産運用方針の決定方法などについて学ぶ。			

科 目 名	経済経営概論		
単 位 数	2単位	科 目 群	専門科目（ヘルスケアとライフマネジメント分野）
教 員	安宅川佳之		
日 程 / 開 講 地	2007年12月15日（土）～12月16日（日）／東京		
【概要】経済・社会、産業組織および企業経営の基礎的な事項を押さえつつ、身近な経済経営問題について学び、新たなビジネス・マネジメントの学習に取り組むための方向づけを行う。マクロ経済面では高齢社会の経済環境と社会保障政策の動向を学び、経営面では具体的に経営問題に当たっているスペシャリストによる講義を行う。			

科 目 名	福祉の歴史		
単 位 数	2単位	科 目 群	専門科目（ヘルスケアとライフマネジメント分野）
教 員	小惊喜一郎		
日 程 / 開 講 地	2007年12月8日（土）～12月9日（日）／大阪		
【概要】本講は、古代から近代までの社会福祉の歴史を通観する。社会福祉の歴史といえば、市販の多くのテキストは、明治以降から、記述される傾向がある。確かに権利としての社会福祉が確立されていない前近代は、社会福祉という言葉の持つ意味も異なっている。しかし、明治以前の前近代の相互扶助や様々な救済制度が、現代の社会福祉と全く無関係ということもない。福祉とは、福も社も「しあわせ」という意味がある。現代に生きる我々が、前近代に生きた人々から学ぶことは無数に存在する。例えば、江戸時代の視覚障害の人々はどのように生きてきたのであろうか。盲僧と呼ばれる人々が何故に存在したのであろうか。また、当道座制度は、視覚障害の人々にとってどんな救済となったのであろうか。さらに、こうした制度や救済から漏れてしまった人々はどのように生きてきたのであろうか。格差社会と呼ばれセーフティネットの存在が危ういといわれる現代、我々は歴史から何を学ぶことができるのかを追求していく。なお、最近の受講生のなかには歴史的な用語がわからないために、講義内容がよく理解できない人もいる。歴史の基礎的理解があるか、それが無い場合には事前に高校の日本史の教科書を通読して受講されることを望む。			

科 目 名	福祉と ICT (情報通信技術)		
単 位 数	2 単位	科 目 群	専門科目 (ヘルスケアとライフマネジメント分野)
教 員	佐藤慎一		
日程 / 開講地	2007 年 6 月 9 日 (土) ~ 6 月 10 日 (日) / 東京		
【概要】 障害のある人や高齢者の自立した生活を助ける電子情報支援技術 (e-AT) とコミュニケーション支援技術 (AAC) について、実践・事例を交えつつ、基礎的な内容からやや専門的なところまでを解説する。その上で、生活を豊かにするという視点で、福祉分野における情報通信技術 (ICT) の活用のあり方について考えていく。			

科 目 名	高齢者福祉分野における経営戦略		
単 位 数	2 単位	科 目 群	専門科目 (ヘルスケアとライフマネジメント分野)
教 員	栗原徹		
日程 / 開講地	2007 年 8 月 4 日 (土) ~ 8 月 5 日 (日) / 東京		
【概要】 1、医療・福祉分野における経営環境は、関連法の改正に伴う収益性の悪化、競争の激化等々著しく厳しさを増しつつある。この難局を乗り越えたものだけが生き残り他は市場から退出しなければならない。〈総論…経営戦略論〉 2、本講座は机上理論ではなく企業経営、福祉施設経営の実務家による実践的経営戦略の構築と実践を本講座のポイントとしている。〈各論…具体的な経営戦略の構築〉 3、また、同時に現在特に必要としている福祉関連企業の経営幹部の養成も合せポイントとしている。〈実践論…具体的なケースにもとづく実践論〉			

科 目 名	超高齢化社会の老後リスク管理 ～とりわけその財政的基盤強化に向けて～		
単 位 数	2 単位	科 目 群	専門科目 (ヘルスケアとライフマネジメント分野)
教 員	川床憲一		
日程 / 開講地	2007 年 11 月 3 日 (土) ~ 11 月 4 日 (日) / 東京		
【概要】 わが国は即ち超高齢化社会に突入しているが、その動きは歴史上例を見ないものである。即ち、その到達するであろう高齢化率の高さと、スピードの速さである。加齢の学問として、施者側の論理としてジェロントロジーが注目を浴び始めているが、本セッションでは、逆に当事者の側にたった老後人生のマネジメントの方法を学ぶことを目的とする (Aged Life Management)。特に本講座では、健康で生きがいのある老後の大前提である、財政リスクに備える対策を手中に据えて論を展開する。			

科 目 名	複合系福祉の構築 ～社会福祉における各種研究分野のつながりの展望～		
単 位 数	2 単位	科 目 群	専門科目 (ヘルスケアとライフマネジメント分野)
教 員	五十嵐教行		
日程 / 開講地	2007 年 7 月 7 日 (土) ~ 7 月 8 日 (日) / 北海道		
【概要】 人々の幸福と安全と快適性を追求する現在、社会福祉の活動領域は多方面に渡ってきた。また各分野 (たとえば医学や工学、経営学など) も社会福祉の活動領域に重なるようにして発展してきている。これらの各研究・活動領域の状況を理解するとともに、それぞれの領域とのつながりについて考察する。各研究領域のゲスト講師の問題提起に基づき、グループディスカッションなどを通して、参加型の講義を展開する。			

科目名	フォローアップセッションⅠ		
単位数	1単位	科目群	共通基礎科目
教員	中上純二	科目の種類	スクーリング科目
日程／開講地	2007年10月20日(土)／美浜(本学)		
【概要】具体的な課題、学習内容、学習方法など、学生が学習を勧めてきた中で阻害要因となっている諸課題について、教員および学生との討論や学生自身の自己分析などをつうじて明らかにしていき、以後の学習を積極的、効率的に行うための支援をめざす。			

科目名	フォローアップセッションⅡ		
単位数	1単位	科目群	専門科目
教員	綾部誠	科目の種類	スクーリング科目
日程／開講地	2007年10月21日(日)／美浜(本学)		
【概要】具体的な課題、学習内容、学習方法など、学生が学習を勧めてきた中で阻害要因となっている諸課題について、教員および学生との討論や学生自身の自己分析などをつうじて明らかにしていき、以後の学習を積極的、効率的に行うための支援をめざす。			

科目名	障害者スポーツ研究		
単位数	1単位	科目群	共通基礎科目
教員	松井健	科目の種類	スクーリング科目
日程／開講地	2007年11月3日(土)または2007年11月4日(日)／美浜(本学)		
【概要】国内外の障害者スポーツに関する情報収集および障害者のスポーツの普及・振興を図るために、障害者スポーツの現状と課題を認識する。日本障害者スポーツ協会の基準プログラムに則した実技・演習を中心に実施する。なお、この資格の対応については本通信教育部が指導者資格取得認定校となっている。			

※各科目の担当教員、概要、日程、テーマ等については変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。